

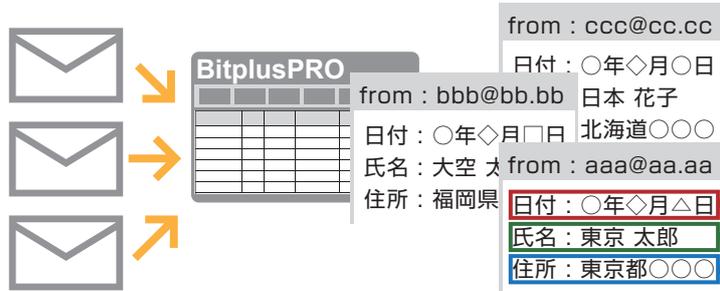
BitplusPRO

受信したメールを「コピペなし」ですぐに活用できる状態にするメールソフト



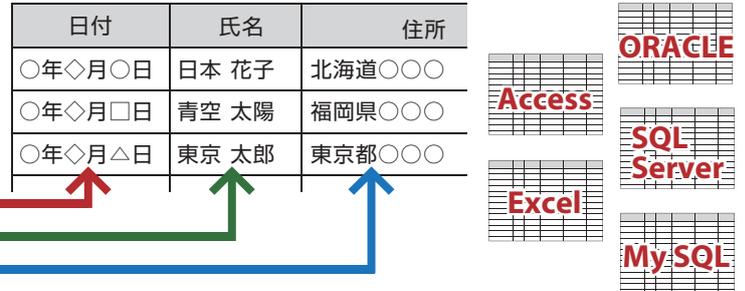
Point 1

定型のメールの受信と同時にデータベースに項目ごとに整理して出力



Point 2

メールで届いた情報が、すぐに利用できる
→ 顧客サービスの向上



抜群のコストパフォーマンス！

コピペ作業がなくなる

メール受信と同時にメールの内容をデータベースに出力するので、メールから手作業でコピペしてデータベースに入力する作業がなくなります。

作業時間の大幅な短縮

コピペ作業がなくなり、手作業だと数時間かかるような処理も、数分で終わるなど、作業時間が大幅に短縮されます。

手作業による入力ミスがない

メールからデータベースへ自動で入力されるため、項目のずれや入力ミスなどがなくなります。

人件費の削減

手作業が必要なくなるので、人件費の削減にもつながります。

主な特長

データベース自動書き込み

受信するメールの項目名とデータベースのフィールド名が一致した場合自動的に値を書き込みます。

空メールからデータベース化

空メールを受信しヘッダーのFrom から差出人のアドレスをデータベース化できます。

件名で処理対象を判断

メールの件名で処理対象を判断します。

複数アカウントの巡回

複数のメールアカウント（異なるメールサーバーでも可）を巡回してメールを受信し、それぞれ指定したデータベースへの読み込みができます。

分散書き込み

データファイルが Access/SQL Server/Oracle の場合、サブテーブルを利用して 1 通のメールを最大 3 つのテーブルに分散して書き込むことができます。

照合モード

データベース中のフィールドを照合し、自動的に更新したり、チェックを入れることができます。この機能を使用すれば、「メールの配信停止」や「アドレスの変更」「元のフィールドの置き換え」も自動化することができます。
例：メールアドレスの変更の自動化・メールマガジンの配信停止の自動化

BitplusPROの特長

データベース自動書き込み

受信するメールの項目名とデータベースのフィールド名が一致した場合自動的に値を書き込みます。

eml形式ファイル受信処理

Windows Live メールなどで利用されているデータ形式のeml形式ファイルを取り込むことができます。

HTML形式メール受信処理

text/plainはもちろんtext/htmlのメールでも受信することができます。

ファイルが添付されたメール処理

添付ファイルがあるメールでも、ファイルを指定のフォルダに出力し、本文を受信処理することができます。

パスワード保護ファイル出力

データファイルがAccessの場合、パスワードで保護されているファイルにも出力可能です。

NT認証・SQL Server 認証対応

SQL Serverは、NT認証・SQL Server 認証とも対応しています。

複数アカウントの巡回

複数のメールアカウント（異なるメールサーバーでも可）を巡回してメールを受信し、それぞれ指定したデータベースへの読み込みができます。

区切り記号モード

メールの項目数や順番をデータベースと合わせる必要はありません。

定義ファイルモード1

項目名と値の間に区切り記号（";", ":", "=", "-", "]", "]"）がない場合でも、定義ファイルを設定することでほとんどの定型メールを読み込むことができます。

定義ファイルモード2

受信メールの中に2つ以上同じ項目名がある場合でも、定義ファイルを設定することでそれぞれ別のフィールドに読み込むことができます。

価格

CD版 **20,000円** (税別)

ダウンロード版 **18,000円** (税別)

30日間無料でお試しいただけます。

機能制限なく、使用できます。
ダウンロードはこちらから

http://www.newsbit.co.jp/software/trial_dl.html

BitplusPROと組み合わせ

使用するとさらに便利な関連商品



BitSearch

リターンメールになったアドレスを特定するメールソフト



BitMailPRO

情報漏洩リスク「ゼロ」の情報メール送信ソフト

お申し込み・お問い合わせは



03-3537-6228

受付時間 10:00~17:00



info@newsbit.co.jp

分散書き込み

データファイルがAccess/SQL Server/Oracleの場合、サブテーブルを利用して1通のメールを最大3つのテーブルに分散して書き込むことができます。

POP over SSL 対応

POP over SSL 接続が必須のGmail、Office365等のメールサーバーでもご利用いただけます。

照合モード

データベース中のフィールドを照合し、自動的に更新したり、チェックを入れることができます。この機能を使用すれば、「メールの配信停止」や「アドレスの変更」「元のフィールドの置き換え」も自動化することができます。

例：メールアドレスの変更の自動化
メールマガジンの配信停止の自動化

ヘッダー取り込み（携帯電話対応）

ヘッダーからも情報を取得できますので、空メールからメールアドレスを取得することもできます。

件名で処理対象を判断

メールの件名で処理対象を判断します。

本文取得モード

メールの本文及びヘッダーをそのままの状態に取り込むことができます。但し、データファイルのフィールドサイズが不足する場合は出力できません。

タイマー機能1

タイマー機能で、毎日時刻を指定して処理したり、指定した間隔で受信を自動的に行ったりすることができます。

タイマー機能2

ダイヤルアップ接続の場合でもタイマー機能に連動して自動接続、自動切断ができます。

ACCDBファイル作成・設定

直接Accessのデータベースを作成・閲覧できます。

重複チェック

データファイルの指定したフィールドについて重複チェックができます。

障害メール削除

メールボックス保守で、メールボックスにあるメールの閲覧及び削除ができます。

メールソフトに依存しない

普段お使いのメールソフトの種類に関わらず、ご利用いただけます。

ランニングコストがかからない

かかる費用はソフトの購入費のみです。

メールボックス保守機能

サーバーのメールを確認できます。

空メールからデータベース化

空メールを受信しヘッダーのFromから差出人のアドレスをデータベース化できます。

専用サーバー不要

専用のサーバーを用意する必要がありません。

データベース閲覧保守機能

取り込んだデータをすぐに確認できます。

CSV出力

取り込んだデータのテーブルをCSV形式のファイルで出力できます。

ヘッダー項目自動変換

メールのヘッダーの項目についてWindowsのアプリケーションで利用可能な形式に自動変換します。

受信処理モード

サーバーのメールを受信後に削除するモードと未読メールのみ処理するモードがあります。

デジタルの情報をデジタルのまま処理

手作業のコピペなどをすることなく、デジタルの情報をデジタルのまま処理します。

自動起動と自動終了

パラメータ付きで起動することで、受信処理を自動化することができます。

動作環境

- オペレーティングシステムが次のいずれかであること
Windows 8.1、8、7、Vista、Windows Server 2008 R2
※Windows Server でご利用いただくためには、別途サーバーライセンスが必要となります。
 - インターネットに接続して電子メールの送受信ができること
 - 2Gバイト以上のRAM（推奨：4Gバイト以上）
 - モニタ解像度 1024×768以上の解像度で表示可能なシステムならびにディスプレイ
 - 使用可能データベースは
Access 2013/2010/2007
Excel 2013/2010/2007 ※
Oracle 11g/10g/9i/8i
SQL Server 2008 R2
MySQL5
※Excelでのデータベースは補助的なものです。BitplusPROの機能を発揮させるにはAccessなどにインポートしてください。
- ※プロバイダーがメールの送受信に制限を設けている場合やファイアウォールで制限がある場合など、BitplusPROでメールが受信できない場合があります。

BitplusPROについて詳しくはこちらへ

<http://www.newsbit.co.jp/software/bpp/>

企画・開発・販売

Newsbit ニュースビット株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-4-5 川村八重洲ビル8F

<http://www.newsbit.co.jp>